令和７年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
成果報告書
①（基礎データ・公演事業の実績値等）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	公益財団法人千葉県文化振興財団
施設名	千葉県文化会館
内定額	23,275　（千円）

（1）令和7年度　助成対象事業一覧

※実績報告書様式13－2(2)事業内容 から転記してください。
　複数の事業類型（公演・人材・普及）が助成対象となっている場合は、それぞれすべて転記してください。

事業番号	事　　業　　名	実施日程	実施会場
公-01	千葉県少年少女オーケストラ結成30周年記念　第30回定期演奏会	令和8年3月29日	千葉県文化会館
公-02	ワルシャワ国立管弦楽団＆牛田智大	令和7年9月6日	千葉県文化会館
公-03	「4館連携」日本音楽財団協定プログラム　大谷康子ヴァイオリンリサイタル	令和7年8月16日 8月17日	千葉県文化会館 千葉県東総文化会館
公-04	「4館連携」クラシック・シリーズ　實川風＆周防亮介 デュオリサイタル	令和8年1月25日	千葉県東総文化会館
公-05	「4館連携」クラシック・シリーズ　森麻季＆グザヴィエ・ドゥ・メストレ	令和7年10月18日	千葉県南総文化ホール
公-06	「4館連携」宮川彬良＆アンサンブル・ベガ　なつやすみファミリーコンサート	令和7年8月11日	千葉県南総文化ホール
公-07	「4館連携」クラシック・シリーズ　岡本知高リサイタル2025	令和8年1月10日	佐倉ハーモニーホール
公-08	（取り下げ事業）		
公-09	「4館連携」伝統芸能シリーズ　中井智弥　箏・二十五弦箏コンサート	令和7年11月3日	千葉県文化会館
公-10	「4館連携」伝統芸能シリーズ　邦楽四重奏団コンサート	令和7年12月20日	千葉県南総文化ホール
公-11	「4館連携」ダンス・シリーズ　ちばでおどれば！南総公演	令和7年7月12日	千葉県南総文化ホール
人-01	千葉県少年少女オーケストラ育成事業	令和7年4月4日（金） ～令和8年3月29日（日）	千葉県文化会館　ほか
人-02	第38回若い芽のαコンサート	令和7年9月28日（日）	千葉県文化会館
人-03	「4館連携」ちば演劇プロジェクト 演劇発見ワークショップ2～新作戯曲『星降る学び舎』から学ぶ～	令和7年 9月20日（土）、 23日（火祝）	千葉県文化会館
普-01	「4館連携」能へのトビラ 「春」「夏」「秋」	令和7年6月7日 令和7年8月31日 令和7年11月28日	千葉県東総文化会館 青葉の森公園芸術文化ホール 鋸南町立鋸南小学校
普-02	【オールちば連携】 おやこdeオペラ「シンデレラ物語」～0歳でもOK！みんなが楽しめる歌芝居～（県内劇場巡回）	令和7年7月20日 令和7年7月26日 令和7年8月3日 令和7年8月24日 令和7年8月17日 令和7年9月20日	青葉の森公園芸術文化ホール 東金文化会館 八千代市市民会館 市原市市民会館 千葉県南総文化ホール 君津市民文化ホール
普-03	【オールちば連携】いっしょにオペラ　～幼稚園児・保育園児対象～　＜アウトリーチ＞	令和7年7月4日 令和7年7月10日 令和7年6月17日 令和7年7月9日 令和7年7月7日	東金市立福岡こども園、 東金市立第2保育所 虹のこころ保育園、 緑ヶ丘はぐみの杜保育園 AIAI NURSERYちはら台 ちはら台まきぞの幼稚園 館山市房南こども園、 館山市立館山幼稚園 君津市立みふねの里保育園、 宮下どろんこ保育園
普-04	【オールちば連携】オーケストラとあそぼう！＜アウトリーチ＞	令和8年1月8日 令和8年1月9日 令和8年1月13日 令和8年1月15日 令和8年1月16日 令和8年1月19日 令和8年1月22日 令和8年1月23日 令和8年1月29日 令和8年1月30日 令和8年2月5日 令和8年2月10日 令和8年2月18日 令和8年3月3日 令和8年3月4日 令和8年3月5日	柏の葉こども園 勝浦市立勝浦こども園 茂原聖マリア幼稚園 古和釜幼稚園 大津ヶ丘幼稚園 市原市牛久認定こども園 若松幼稚園 山武市立まつおこども園 九十九里町立とようみこども園 たんぽぽ幼稚園 土気中央幼稚園 高浜幼稚園 ひばり幼稚園 市原うさぎ幼稚園 八街市立八街第一幼稚園 認定こども園OURS

事業番号	事　　業　　名	実施日程	実施会場
普-05	【オールちば連携】わがっきとあそぼう！＜アウトリーチ＞	令和7年11月14日 令和7年11月17日 令和7年11月26日 令和7年11月28日	いすみ市立夷隅こども園 昭苑こども園 すずみ幼稚園 若松台幼稚園
普-06	【オールちば連携】観光＆文化資源コラボシリーズ＜アウトリーチ＞	令和7年12月7日 令和8年1月25日	イオンモール成田 富津市民会館
普-07	【オールちば連携】ミュージアムコラボシリーズ＜アウトリーチ＞	令和7年6月7日 令和8年2月7日	東庄町公民館 千葉市美術館
普-08	【オールちば連携】プロスポーツ団コラボシリーズ＜アウトリーチ＞	令和7年8月24日 令和7年11月9日	ユナイテッドパーク市原 フクダ電子アリーナ
普-09	【オールちば連携】バリアフリーシリーズ＜アウトリーチ＞	令和7年12月19日 令和8年2月26日 令和8年3月26日 令和8年3月29日	銚子特別支援学校 千葉大学教育学部付属 特別支援学校 グループホーム和季 千葉市生涯学習センター
普-10	【オールちば連携】スクールコラボシリーズ　学校訪問公演　＜アウトリーチ＞	令和7年11月28日	館山市立館山中学校
普-11	「4館連携」谷桃子バレエ団 バレエワークショップ	令和8年3月7日	千葉県文化会館

（2）〔基礎データ〕

※　交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してください。

※　実施中止分を含まない実績値を記入してください。

【1．事業本数】

項　　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
年間事業本数（※1）	主催事業	49	46	51
	公演事業	15	16	22
	（内、本助成対象事業本数）	7	12	6
	人材養成事業	7	5	5
	（内、本助成対象事業本数）	6	3	4
	普及啓発事業	27	25	20
	（内、本助成対象事業本数）	11	9	11
	共生社会事業			
	（内、本助成対象事業本数）			
	その他　内容：　リニューアルオープン記念事業ほか			4

※1　事業の延べ実施回数ではなく、事業本数を記入してください。

【2．貸館日数】

項　　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
貸館日数	ホールごとの貸館日数	0	0	331
	ホール名：大ホール　座席数：1728	0	0	192
	ホール名：小ホール　座席数：250	0	0	139
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			
	ホール名：記入してください　座席数：記入してください			

【3．施設利用者数（事業利用者数）・開館日数・利用可能日数・利用日数・利用率】

項　目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
施設利用者数（※2）	主催事業入場者・参加者数	30,147	27,200	53,355
	公演事業	18,793	17,100	32,681
	人材養成事業	1,878	1,650	2,110
	普及啓発事業	9,476	8,450	9,378
	共生社会事業			
	その他　内容：リニューアルオープン記念事業ほか	0	0	9,186
	貸館事業入場者・参加者数	0	0	249,343
	その他　内容：	0	0	0
	計	30,147	27,200	302,698
開館日数		改修休館	改修休館	222
施設の利用可能日数　（＝365－（保守点検日数+休館日数））				217
施設の利用日数				192
施設の利用率(%)　（＝利用日数/利用可能日数）		0.0%	0.0%	88.5%

備考	

※2　実演芸術の公演等を鑑賞する者、ワークショップ等に参加する者、その他の劇場・音楽堂等の事業を利用する者の延べ人数を記入してください。
劇場・音楽堂等のスタッフや、併設施設（美術館、図書館等）のみへの入場者、事業関係者（出演者、指導者、スタッフ等）は除きます。
レジデントカンパニー・アーティストの稽古利用等の場合は「その他」に記入してください。

【4. 公演事業データ】

※ 交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してください。

※ 実施中止分を含まない実績値を記入してください。

事業種別		事業本数	公演回数	入場者・参加者数	事業本数内訳						
					演劇	音楽	舞踊	伝統芸能	演芸	総合（※3）	その他
令和5年度	主催公演（※1）	24	56	8,978	4	12	1	7	0	0	0
	共催・提携公演（※2）	25	30	21,169	6	12	1	1	0	3	2
	貸館公演	0	0	0	改修工事の為休館						
	計	49	86	30,147							
令和6年度	主催公演（※1）	24	55	8,200	4	14	1	3	2	0	0
	共催・提携公演（※2）	25	27	19,000	6	13	1	1	1	3	0
	貸館公演	0	0	0	改修工事の為休館						
	計	49	82	27,200							
令和7年度	主催公演（※1）	35	72	39,962	4	20	2	3	1	5	0
	共催・提携公演（※2）	8	9	12,393	1	5	0	1	1	0	0
	貸館公演	47	50	51,165	3	37	1	1	3	2	0
	計	90	131	103,520							

※1 名義主催は除きます。
※2 名義共催を含みます。
※3 「総合」には、フェスティバル等における事業数を記入してください。

（3）各公演事業における実績値 及び 評価項目「創造性・企画性」に関する評価指標・目標（値）・実績（値）

- 公演事業について、助成対象事業ごとに目標（値）と実績（値）を記入してください。
- 入場者数・入場者率（目標値）は**「交付申請書」**から転記してください。
- 有料入場者数・有料入場者率（目標値）および評価指標・目標（値）は**「評価補助シート」**から転記してください。

※有料入場者率（%）の計算方法＝**有料入場者数÷公演の設定席数（実績値）合計×100**

事業番号	事業名		入場者数	入場者率	評価指標	目標（値）	実績（値）
公-01	千葉県少年少女オーケストラ結成30周年記念　第30回定期演奏会	目標値	1,650	100.0%	アンケート回答者の満足度	90%以上	100%
		実績値	1,613	93.6%	小中高生の入場者数	100名以上	129名
公-02	ワルシャワ国立管弦楽団＆牛田智大	目標値	1,200	69.6%	アンケート回答者の満足度	90%以上	100%
		実績値	1,440	83.5%	県外および外国人の入場者数	100名以上	25名
公-03	「4館連携」日本音楽財団協定プログラム　大谷康子ヴァイオリンリサイタル	目標値	1,200	21.2%	アンケート回答者の満足度	90%以上	100%
		実績値	1,090	42.1%	小中高生（無料）　入場者数	60名以上	150名
公-04	「4館連携」クラシック・シリーズ　實川風＆周防亮介 デュオリサイタル	目標値	400	44.4%	アンケート回答者の満足度	90%以上	100%
		実績値	451	52.0%	旭市内および隣接地区からの入場者数	120名以上	151名
公-05	「4館連携」クラシック・シリーズ　森麻季＆グザヴィエ・ドゥ・メストレ	目標値	750	62.5%	アンケート回答者の満足度	90%以上	98.7%
		実績値	243	20.3%	30歳以下の入場者数	100名以上	20名
公-06	「4館連携」宮川彬良＆アンサンブル・ベガ　なつやすみファミリーコンサート	目標値	600	50.0%	アンケート回答者の満足度	90%以上	100%
		実績値	239	19.9%	高校生以下の入場者数	200名以上	54名
公-07	「4館連携」クラシック・シリーズ　岡本知高リサイタル2025	目標値	500	75.0%	アンケート回答者の満足度	90%以上	100%
		実績値	621	93.1%	30歳以下の入場者数	50名以上	10名
公-08	（取り下げ事業）	目標値					
		実績値					
公-09	「4館連携」伝統芸能シリーズ　中井智弥　箏・二十五弦箏コンサート	目標値	200	80.0%	アンケート回答者の満足度	90%以上	100%
		実績値	204	81.6%	有料邦楽演奏会の初来場者	20名以上	35名
公-10	「4館連携」伝統芸能シリーズ　邦楽四重奏団コンサート	目標値	180	60.0%	アンケート回答者の満足度	90%以上	100%
		実績値	154	51.3%	館山市内および隣接地区からの入場者数	30名以上	36名
公-11	「4館連携」ダンス・シリーズ　ちばでおどれば！南総公演	目標値	60	100.0%	アンケート回答者の満足度	90%以上	100%
		実績値	49	81.7%	30歳以下の入場者数	20名以上	25名

令和７年度

劇場・音楽堂等機能強化推進事業

成果報告書

②（評価）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	公益財団法人千葉県文化振興財団
施設名	千葉県文化会館
内定額	23,275　（千円）

（1）各公演事業の自己評価

「成果報告書①（基礎データ・公演事業の実績値等）」に記載の入場者率・評価指標・実績（値）等に言及しつつ、自己評価と自己評定（※1）を記入してください。

（※1）…S～D で記入してください。

※太枠内に記入してください

事業番号	事業名	自己評価
公-01	千葉県少年少女オーケストラ結成30周年記念　第30回定期演奏会	販売分のチケットは 11 月には完売しました。招待者の急な欠席等により入場者数は目標にわずかに届かなかったものの、招待を含む発券率は定員の 99%を超えました。小中高生の入場者数もアンケートでの満足度も目標をクリアしており、S評価です。
公-02	ワルシャワ国立管弦楽団＆牛田智大	入場者数、有料入場者数はいずれも目標をクリアし、アンケートでの満足度も100%となりました。しかし収支面では格上席の販売率が想定より低くとどまったこと、また県外からの来場者も思ったほど集められなかったことからB評価とします。
公-03	「4館連携」日本音楽財団協定プログラム　大谷康子ヴァイオリンリサイタル	入場者数については若干目標に届かなかったものの、有料入場者数は目標を大幅にクリア。 アンケートでの満足度も 100%となり、小中高生の入場者数も目標をクリアしたことから、S評価とします。
公-04	「4館連携」クラシック・シリーズ　實川風＆周防亮介 デュオリサイタル	入場者数、有料入場者数はいずれも目標をクリアしました。 アンケートでの満足度も 100%となり、会場の近隣地区からの入場者数も大きく上回ったことから、S評価とします。
公-05	「4館連携」クラシック・シリーズ　森麻季＆グザヴィエ・ドゥ・メストレ	アンケートでの満足度は 98.7%と高い結果でしたが、入場者数、有料入場者数、若者の入場者数はいずれも目標に届きませんでしたので、C評価とします。
公-06	「4館連携」宮川彬良＆アンサンブル・ベガ　なつやすみファミリーコンサート	アンケートでの満足度は 100%となりましたが、入場者数、有料入場者数、高校生以下の入場者数はいずれも目標に届きませんでしたので、C評価とします。
公-07	「4館連携」クラシック・シリーズ　岡本知高リサイタル 2025	チケットの完売が早く、指標とした若い層や学生に特化した宣伝は十分に実施することができませんでしたが、入場者数、有料入場者数はいずれも目標をクリアし、アンケートでの満足度も 100%となりましたので、S評価とします。
公-08	（取り下げ事業）	
公-09	「4館連携」伝統芸能シリーズ　中井智弥　箏・二十五弦箏コンサート	有料入場者数は若干目標に届かなかったものの、入場者数は目標をクリアしました。アンケートでの満足度は 100%となり、「有料の邦楽公演が初めて」という方にも多く足を運んでもらうことができたため、A評価とします。
公-10	「4館連携」伝統芸能シリーズ　邦楽四重奏団コンサート	入場者数、有料入場者数とも目標に届きませんでした。ただしアンケートでの満足度は 100%となり、指標とした会場の近隣地区からの入場者数はクリアしたことから、B評価とします。

公-11	「4館連携」ダンス・シリーズ　ちばでおどれば！南総公演	入場者数、有料入場者数ともに目標には届かなかったものの、アンケートでの満足度は100%となり、また30歳以下の入場者を多く確保することができたことから、B評価とします。

※行が足りない場合は適宜追加してください。

（2）自己評価

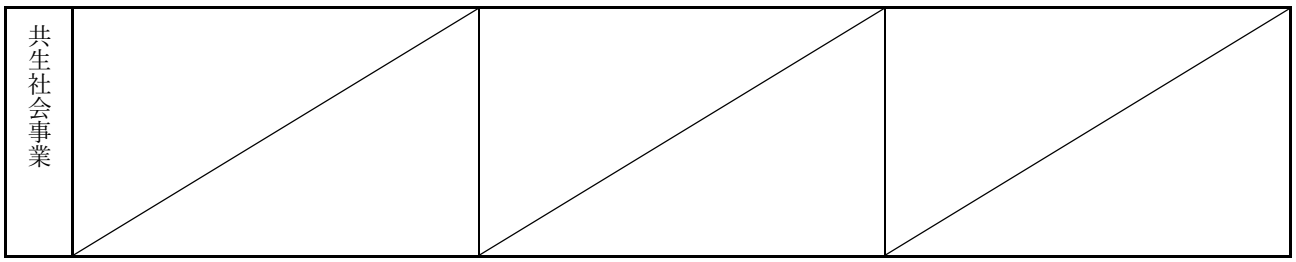
評価項目①：創造性・企画性

（※1）…S～D で記入してください。

評価の観点	・（企画力）地域の状況と芸術性とのバランスが取れた、特色ある事業計画である。 ・（制作力）優れたアーティストやスタッフ等が才能や技能を発揮し、高い水準の作品制作や各種事業が行われている。 ・（発信力・影響力）圏域内外の実演芸術を牽引する成果が期待できる。 ・（レジデントカンパニー・アーティスト）当該劇場を創造拠点又は準拠点とする実演芸術団体やアーティストを擁する。	
	・自由設定の観点（任意）（※2）	

（※2）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

	評価指標（※3）	目標（値）（※4）	実績（値）
公演事業	・レジデント・カンパニーの活動への評価	支える会会員数の増加（5件以上） 専門家を含む第三者から概ね高評価を得る	新規会員数　19 件 第三者の高評価を得ることができた。
	・顧客満足度	全公演事業で顧客満足度の目標を達成する	98.7%～100%の高い満足度で達成した。
	・外部アドバイザーからの評価	ヒアリングで概ね高評価を得る	高評価を得ることができた。
人材養成事業	・レジデント・カンパニーの活動への評価	団員募集に対する応募数 12名以上	17 名の応募があり達成した。
	・対象アーティストの反応	今後の活動に繋がるステップとして高評価を得る	今後に繋がる貴重な機会だった、と高い評価を得た。
	・事業関係者の反応	アンケートで概ね好評価を得る 次年度以降の継続実施の意向を得る	アンケートで高評価を得た。 次年度以降も継続実施することとなった。
普及啓発事業	・アウトリーチの受け入れ先等による評価	「また実施してほしい」との回答８５%以上	「また機会があれば実施して欲しい」という感想が 100%となった。
	・協働先の団体からの評価	再度の協働や継続実施の示唆　８０%以上	協働団体から「また機会があれば実施して欲しい」という希望あり。 また次年度以降の継続実施が決まった協働先もある。
	・参加者からの評価	「初めて○○を見た（した）が興味を持てた」という回答 ８０%以上	初めてだったが楽しく見られた、参加できた、また参加したい、という感想が 100%となった。



（※３）・（※４）…Ｒ７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、事業類型ごとに太枠内に自己評価を記入してください。

公演事業	
自己評価	・レジデントカンパニー活動として、千葉県少年少女オーケストラを支える会の総会員数については、会費未納入（連絡不通）の会員の整理を行ったことにより若干減少したものの、令和 7 年度中に新規の入会申込みが 19 件（法人 1 件、個人 18 件）あり、新しい支援者の獲得に成功した。 ・公演事業の顧客満足度は 98.7%～100%と高い満足度となり、実施した公演の質の高さを示していると言える。また、都市部から離れた地域において、「入場率が低い＝類似事業を今後は行わない」という選択は文化振興の観点からできないため、入場料や開催日時の工夫等を以って事業を続けていきたい。 ・外部アドバイザーのヒヤリング結果 「合唱もソリストも素晴らしく、その技術に応えた子どもたちの演奏が感動的だった」（少年少女オケ） 「二十五絃の魅力を千葉で広めたという意味でも素晴らしい演奏会であった。」（中井智弥） 「千葉の資源を活用した大変興味深い内容だった。子どもも楽しんでいた。」（ちばでおどれば！）

人材養成事業	
自己評価	・レジデントカンパニー活動として、千葉県少年少女オーケストラの新入団の応募数は、目標 12 名以上に対し 17 名の応募があり、目標を達成した。知名度、評価ともに高水準を維持している証と考える。 ・若い芽のαコンサートについては、奏者から貴重な機会に対して感謝の言葉をもらい、「大ホールでプロのオーケストラをバックに協奏曲を演奏する機会を設け、演奏家としてステップアップするための経験の場を提供する。」という目標を十分に達成できた。 ・いずれの対象事業に関しても、外部の事業関係者から高い評価を得ることができ、次年度以降の継続実施が決定した。 　演劇ワークショップについては、参加者が次年度の本公演に対して深い興味を持ち、令和 8 年度公演の出演者オーディションに参加を表明するなどの動きにつながった。

普及啓発事業	
自己評価	・アウトリーチ事業については、「また実施してほしい」との回答の目標８５％以上に対し、全ての受け入れ先から「また機会があればぜひ」「来年度もぜひ」といった、継続実施の意向が伝えられている。 同じ場所での継続か、あるいは別の場所での実施か、広い視野で検討したい。 ・普及啓発事業として協働した団体からは、再度の協働や継続実施の示唆目標８０％以上に対し、全ての協働先から「今後も数年に１度でも一緒に事業を行いたい」という意向が伝えられている。 　包括連携協定を締結した団体を中心に、千葉の文化振興に寄与する連携を実施していきたい。 ・普及啓発事業のアンケートにおいて、「初めてきましたが…」「初めて観ましたが…」という書き出しに続く記述としては 100%、「とても楽しかった」「説明もわかりやすかった」「また観たい」といった好意的なものであった。今後もさまざまなジャンルにおいて、「初参加」の敷居を取り払い、老若男女問わず気軽に楽しく鑑賞できるような公演制作を行いたい。

共生社会事業	
自己評価	

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目②：国際性（任意）

評価の観点	・（国際プレゼンスの向上）海外の劇場やフェスティバル、実演芸術団体等と連携し、国際共同制作や海外作品の招聘等に取り組んでいる。 ・（国際交流）アーティストや文化芸術関係者の招聘等、人的交流や情報交換が行われている。 ・（新たな創客への取組）在住外国人や訪日外国人に向けて文化芸術体験の機会を提供する等、グローバルな視座で創客に取り組んでいる。	
	・自由設定の観点（任意）（※２）	

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）
・外国人の関心・来場者数	翻訳プログラムの配布数 30 部以上	翻訳プログラムを作成した事業の合計で 30 部以上を配布した
・外国人コミュニティへの働きかけ	外国人コミュニティへの紹介･あっせん　5 件以上 （千葉県国際交流センター、（公財）岡本国際奨学交流財団、神田外語大学ほか）	外国人コミュニティへの紹介･あっせん　6 件以上を実施
・在日外国人が、見るだけでなく、参加するための機会提供	次年度人材事業への参加希望者 １名以上	次年度人材事業への参加者 演劇ワークショップに１名参加

（※３）･（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	・翻訳プログラムを作成した事業において、総計 30 部以上のプログラムを配布した。英語版のプログラムの用意があることを案内すると、多くの外国人来場者は嬉しそうに受け取る姿が見受けられた。 ・外国人コミュニティーへの紹介・あっせんは、伝統芸能公演や普及公演、在外アーティストの出演する公演を中心に、地域の国際交流協会、県域の国際交流センター、留学生のいる外語大学等で実施した。 ・演劇ワークショップにおいて、国際交流センターからの情報提供に応え、ベトナム人女子留学生役に１名、参加希望があった。

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目③：地域文化拠点機能

評価の観点	・(文化拠点) 地域の特性やニーズを踏まえ、地域の文化資源を活用するなど、地域の文化拠点として事業が組み立てられている。 ・(地域連携) 地域の関係機関と連携・協力し、地域コミュニティの創生や社会課題の解決等に取り組んでいる。 ・(児童生徒への機会提供) 次代を担う子ども達を対象とした鑑賞や体験事業が行われている。	
	・ホール利用サービス（貸館事業）の向上（任意）（※２）	利用者の 85%以上が「満足」「ほぼ満足」と回答
	・自由設定の観点（任意）（※３）	

（※２）・（※３）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※４）	目標（値）（※５）	実績（値）
・市民および学生のボランティア参加数	20 名以上	18 名であった。
・子ども対象事業の参加者数	全ての事業で目標を達成する	一部事業で目標に満たなかった。
・インターンシップの受け入れや講師派遣依頼	２件以上	４件
・貸館事業における満足度	85%以上	97.9%

（※４）・（※５）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	ボランティアについては目標 20 名のところ 18 名となった。昨年ボランティアが携わった業務の一部を慣れた有料アルバイト対応とした事業もあった。 子ども対象事業については入場率の目標を下回った事業について一部、目標の不達成が生じた。 インターンシップの受け入れや講師派遣依頼については、目標２件のところ、インターンシップの受け入れが２件、大学への講師派遣が２件あり、目標を達成した。

（2）自己評価

（※1）…S～D で記入すること。

評価項目④：多様性とアクセシビリティ

評価の観点	・（プログラムの多様さ）プログラムの種類や形態が多様で、幅広い観客や参加者に訴求する。 ・（参画者の多様さ）アーティストやスタッフとして参画する人々の属性（性別、年代、居住地、他）が多様である。 ・（アクセシビリティ）障がいの有無や年齢、性差、国籍、居住地、経済的状況等に関わらず、あらゆる人々と実演芸術をつなぐため、施設の構造・設備上の配慮、プログラム上の創意工夫やサポート、アウトリーチ等が行われている。	
	・自由設定の観点（任意）（※2）	

（※2）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※3）	目標（値）（※4）	実績（値）
・若い層の利用者数	U-30 以下のチケットの購入者の割合 5%以上	5%を超えた。
・託児サービスの利用	設定事業で各２名以上	一部事業では利用者がいなかった
・有料公演における障がい者席の利用者数	各公演　３名以上	一部事業では利用者がいなかった

（※3）・（※4）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	若い層（30 歳以下を想定）の利用者については、チケットの区分やアンケートでの割合から算出した結果、概ね 5%を超えることができた。 託児サービスについては２事業で実施、１事業は２名以上の利用があったが、もう１事業は利用者がいなかった。地方都市では「託児を利用してコンサートを観る」ということにまだハードルがあるように感じているが、取組みは続けていきたい。 障がい者の利用については「介助者は無料」の取組みを行っている。その成果か以前よりは利用者が増えている体感はあるものの、催し物により偏りが見られ、全く利用がない催しもあれば車いす用スペースが足りなくなる催しもある。外出のしづらさから参加する催しを「厳選して」いるようにも感じている。

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目⑤：自由設定（任意）

評価の観点	①　創造性・企画性、②国際性、③地域文化拠点機能、④多様性とアクセシビリティ、⑥運営体制と持続可能性　の項目では成果や課題に言及しきれない事柄について、自己評価を行ってください。（※２）
	・ ・ ・

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）

（※３）・（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	

（2）自己評価

その他：エピソードやグッドプラクティス事例について

助成対象事業に関連して、心に響くような印象的な出来事や、他館の参考になるような好事例があれば、具体的にご記入ください。
次年度以降につながる活動として、ワークショップを実施した「谷桃子バレエ団」では令和 8 年度には千葉県文化会館での本番公演を開催することとなり、以降も千葉県内での継続的な本番公演実施を見込んでいる。 また、演劇ワークショップでは、多言語枠を利用し通訳者を探す中で、「役者探しが大変」と考えていた「ベトナム人留学生役」について、演劇に興味を持つ実際のベトナム人留学生につながりを作ることができた。 アウトリーチでは、ジェフユナイテッド市原・千葉のホームゲーム実施日のスタジアムにおいて、世界的なソプラノ歌手である森谷真理氏を招いての歌唱を披露することができた。「スタジアムでの歌唱」は協働事業として財団の１つの目標でもあったため、実現できたことは大変にありがたかった。

（２）自己評価

評価項目⑥：運営体制と持続可能性

（※１）・（※２）…Ｒ７年度評価補助シートから転記すること。
※太枠内に記入してください

○「実現性」の項目より〈(ア）～（エ)〉

評価の観点	（ア）多様な財源の確保 予算計画が妥当であり、事業収入のほか、各種助成金や寄附金・協賛金等の獲得に努めている。	（イ）広報・営業力 広報計画が充実しており、券売や集客、会員制度等の拡充に努めている。
現状（※１）	予算計画は妥当であり、助成金･協賛金の獲得に努めている。	広報計画は充実しており、券売や集客に努めている。
目標(値)（※２）		
実績(値)		
団体の自己評価		

評価の観点	（ウ）他館連携 他の劇場・音楽堂等との事業連携や協力・支援を通じて、効果的で効率的な事業運営を行っている。	（エ）設置者 円滑な事業の継続のため設置者と適切に意思疎通を図っており、設置者による人材や財源の確保等が期待できる。
現状（※1）	他の劇場・音楽堂等とは事業連携や協力を行い、地域の特性を踏まえて事業を展開している。	県とは十分な意思疎通の元で円滑に事業を実施しているが、人材確保は管理者が行っている。
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価		

○「持続可能性に関するチェックシート」より〈(オ）～（セ)〉

評価の観点	（オ）芸術監督 芸術監督等、劇場運営の芸術面を統括する人材が配置されている。	（カ）長期的経営 長期的視点に立ち、劇場運営を統括する、経営実務者が配置されている。
現状（※1）	レジデントアーティストに音楽監督を配置している。	長期的視点から劇場運営を統括する、経営実務者が配置されている。
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価		

評価の観点	（キ）専門人材の確保 今日的な劇場運営に必要な職能や専門性を踏まえ、運営体制が整備されている。あるいは専門人材の確保や育成に努めている。	（ク）職制の整理 芸術監督、館長、支配人、プロデューサー、その他管理職の職位及び職能、一般職員の職務内容等が専門性を基に整理され、役割分担されている。
現状（※1）	職能・専門性の維持のため適材適所への配置と、人事異動による応用力の獲得に努めている。	役員・管理職および一般職員の事務分掌については適切に整理され分担されている。
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価		

評価の観点	（ケ）世代間バランス 年齢バランスを考慮した人材確保を行っている（若年層の雇用に努めている）。	（コ）ジェンダーバランス 女性管理職比率が 30%以上である。あるいは、女性の管理職やリーダー職への登用に努めている。
現状（※1）	若年層の雇用に努めているほか、業務内容の多様化に伴う経験者の採用も実施している。	能力を適切に評価した上で、女性の管理職やリーダー職への登用に努めている。
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価		

評価の観点	（サ）ワークライフ・バランス 仕事と育児･介護等の両立支援制度を整備し、推進している。	（シ）コンプライアンス順守 情報セキュリティをはじめ、各種コンプライアンスの順守規定を策定し、必要な研修を行っている。
現状（※1）	仕事と育児･介護等の両立支援制度を整備し、推進している。	情報セキュリティをはじめ、各種コンプライアンスの順守規定を策定し、必要な研修を行っている。
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価		

評価の観点	（ス）ハラスメント防止対策 職場内及び創作現場におけるパワー・ハラスメント、セクシュアル･ハラスメント等防止のための指針等を策定・周知し、必要な研修を行っている。	（セ）適正な契約事務 アーティストやスタッフと適正な契約書を交わしている。
現状（※1）	各種ハラスメント防止のために指針等を策定・周知し、必要な研修を行っている。	アーティストやスタッフとは適正に契約書を交わしている。
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価		

（3）総評

※太枠内に記入してください。

団体の自己評価
令和 7 年度は千葉県文化会館の改修工事が終了し、7 月にリニューアルオープンを迎えた。 折しも財団設立 40 周年、千葉県少年少女オーケストラの結成 30 周年と重なり、目まぐるしくも華々しい年であった。 助成金の活用により、周年記念事業として、通常は独自での実施が難しい在外オケの演奏会が実施可能となった。 また改修期間中に強化された近隣市町村や各種団体とのつながりを維持しつつ多彩なアウトリーチ活動を継続することができ、県内各所に、またはさまざまな環境に置かれた人たちに、一流のライブパフォーマンスを届けることができた。 目標・指標については多くの事業において達成することができたが、特に地方都市において入場者数の減少が顕著に見受けられ、これまで安定して成果を得ていたアーティストを起用しても目標値に届かないなど、難しい状況となった。 昨今の物価の高騰なども踏まえ、これまで以上に、入場料金の設定と入場率とのバランスを見極めた事業設計の必要性を感じている。

備考